

～事業予定～

- 12月3日 エコ・森の学校コラボ事業
- 12月3日 忘年会
- 1月8日 新年会
- 1月27日 結の灯りOPイベント
- 2月上旬 キャンドル教室
- 2月3日 小出国際雪合戦 協賛
木工教室・キャンドル教室
ゴミの分別指導

つなごて

2017年
冬号



2017年11月30日発行
発行：NPO法人魚沼交流ネットワーク
総務部・事務局
住所：〒946-0023 魚沼市干溝 1848-1
魚沼市小出郷文化会館内
TEL:025-792-1336 FAX:025-792-6776
Mail: npo@uonumakara.com
URL: <http://www.uonumakara.com/npo/>
Facebook: <https://www.facebook.com/npouonuma/>



昭和女子大学 魚沼での研修の二報告 地域の魅力を発見・発信



東京の昭和女子大学で講師を務めている天笠と申します。今回は有難いことに「つなごて」の貴重な紙面を頂戴し、私たちが9月12～15日に学生たちと魚沼で実施した研修を報告する機会を頂きました。私が魚沼を初めて雪合戦で訪れてから15年弱になります。この縁が今回のような研修に発展したのも、魚沼交流ネットワークの皆様によって頂いたつながりと、そして、地域の方々の多大なる協力の賜物です。紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。ここでは、その感謝の意味も込め、研修の様子をお伝えできればと思います。

私たちの今回の研修のテーマは「地域の魅力を発見・発信する」というものでした。ビルに囲まれた三軒茶屋にある大学に通う女子学生たちが、田んぼが一面に広がる魚沼を取材し、そして、自らの目線からカメラやビデオを使ってその魅力を切り取り、ポスターやPRビデオなどに編集し、発信するというが研修のプログラムです。

今回、学生たちは小出地区と福山新田地区の二手に分かれて取材を行いました。小出地区では、商店街の店舗の取材を行い、さらに商工会青年部や職人大学の会議の様子を見学しました。学生たちは、取材にご協力いただいた皆さんがそれぞれ持っていた地域に対する熱い思いや、意識のないはずの自分たちに対する地域の方々のホスピタリティに大きく心動かされたようです。

また、福山新田地区では、地域おこし協力隊 西村様のご協力のもと、地区長をはじめ、地域に暮らす様々な方にお話しをお聞きしました。また、「よらん会」の皆様においしいおにぎりをふるまってくれたり、炭焼きの体験をしたり、都



会にはないものを多く体験・取材させて頂きました。福山の穏やかな時間の中で、東京では険しくなりがちな学生たちの表情が、まるで菩薩のようになっていたのが強く印象に残っています。

このような貴重な体験のお礼として、取材の内容を振り返り分析する学びの機会として、研修最後の夜に、各地区の魅力を伝えるためのポスターやPRビデオの制作を行いました。制作の現場は、熱気に包まれ、どのグループも誰に言われるでもなく、朝の3時ごろまで頑張ってくれました。出来上がった成果物も、街にたくさん残る「青春の風景」に注目した「恋いづる青春の街、小出」というPRビデオや、都会では聞けない「福山の音」に着目した映像など、身びいきかもしれません。が、面白い観点を持つ作品に仕上がったと思います。

最終日、福山新田と小出それぞれで、成果の発表を行いました。発表後に地域の方々と楽しそうに話す学生たちの姿と、発表中、感極まって泣いていたとある学生の姿を忘れることが出来ません。皆様のご協力で、学生たちの中に一生ものの経験を残すことが出来ました。改めてになりますが、教員として心よりの感謝を申し上げます。ありがとうございました。今回生まれたつながりを、私たちも精一杯努力をして、また育てていきたいと思っています。

昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科

専任講師 天笠 邦一



Facebookに注目！！



今回一番注目された記事は、【つなごて事業部】踊ろう会、小出まつりの記事でした！(8月上旬～10月末)

魚沼交際ネットワークさんが写真3件を追加しました。
作成者：伊藤 浩 氏 | 8月29日 | 公開

【つなごて事業部】8月27日(日)小出まつり民謡流しに参加してきました～

～！！

少し早めに集まって、まず一杯…いや二杯？

踊りの休憩時間に一杯！

踊りが終わって一杯…いっぱい…！

そんな感じで、とても楽しく参加させていただきました！…もっと見る



随時情報発信中！「いいね」してね♪

～事業報告～

- 9月3日 森の学校 干溝遊歩道整備
- 9月4日 理事会開催
- 9月17日 森の学校 干溝植樹地整備
- 9月17日 十五夜まつり協賛 踊ろう会
- 10月1日 武蔵野市立第一小学校 自然体験受け入れ補助
- 10月7日 里山まつり協賛 森の学校木工教室
ゴミ分別指導事業
- 10月22日 森の学校 干溝遊歩道整備
- 11月12日 森の学校 干溝遊歩道整備
- 11月26日 だんだんど～も只見線沿線元気
只見線活性化講演会



～チケットの購入お問合せ～ 魚沼市小出郷文化会館

〒946-0023

魚沼市干溝 1848-1

TEL/025-792-8811

FAX/025-792-6776

※月曜 定休日



魚沼映画の専門店



『ハイジ』

日時…12月15日(金)～

17日(日)

会場…小出郷文化会館

小ホール

料金…一般 1,000円

学生、シニア 800円

PTA関係者 500円

うおぬま超劇シリーズ 2017

『スギテツ冗談



クラシックコンサート』

日時…12月10日(日)

開演…15:00(開場 14:30)

会場…小出郷文化会館

小ホール

料金…全席指定 2,500円

高校生以下 1,500円

魚沼市小出郷文化会館 自主事業
おすすめプログラム



編集後記

いよいよ忘年会、新年会シーズンになってきましたね！
体調管理には十分気を付けて、楽しい飲み会シーズンを迎えましょう。

機関紙「つなごて」では皆様からのアイデアや情報を随時募集しています。

クリスマス Mini Festa 開催☆

日時…12月3日(日)13時

会場…魚沼市小出郷文化会館 2Fホワイエ

内容…キャンドル作り・木工教室 米粉クレープ作り

料金…各200円～500円

●忘年会

日時…12月3日(日)18時～

会場…ポポラーレ【魚沼市新保183-3】

会費…4,000円

その他…プレゼント(1,000円以内)

●新年会

日時…1月8日(月)17時～

会場…魚沼市小出郷文化会館

会費…1,000円＋1品持ち寄り



忘・新年会 参加者募集

らのカンパと協力を得て開設した。蔵書は絵本、童話、自然の本など9,000冊あまり。家の裏にある「フーのきの森」では、木々の間に取り付けられたブランコやハンモックに揺られ心地よい風を感じたり、散策路や池ではトンボやカエル、イモリ等の生き物



に出会うこともできる。毎週土日10時～16時開館、冬期休館。入館無料。本の貸出可。絵本に親しむ活動(お話会など)や自然に親しむ活動(木の実探検など)も行っている。子どもたちは守門地区をはじめ市内外、新潟市からも訪れ、秋には市内や南魚沼市の幼稚園生、保育園生が遠足にやってくる。

館長の千恵さんは高齢になり、一昨年から大平光代さんが代表を務めている。「おばさん(千恵さん)がいた頃のような毎日の開館は難しいけれど、自分たちのできる範囲で」と、子どもたちが心も体も豊かに成長することと、子どもの元気な笑い声が響く絵本の家でありたいと願い活動をしている。

ボランティア募集中。虫好きの人や森遊びのアイデアを持っている人、絵本の読み聞かせに興味がある人など。また、ゆきぼっしの活動に賛同する人からの賛助会費(一口2,000円)も募っている。

電話:025-797-2330

<http://www.yukiboushi.com/>

活動の様子はフェイスブック「ゆきぼっし」。

記 品田 美幸

都市の子どもたちの伐採体験

魚沼市地域づくり振興公社から「伐採体験学習」の講師派遣依頼があり、10月1日に実施された学習に、うおぬま森の学校から7名が講師として福山新田に行った。

学習した東京都武蔵野市立第一小学校の児童からのお礼のお手紙が届いたので掲載します。

(掲載には学校・ご家族の承諾済です)

記 高野 俊治

拝啓

秋も深まり、朝夕は寒さが感じられるようになりましたが、お元気でいらっしゃいますでしょうか。

さて、先日は私たちに貴重なお時間をいただき、分かりやすくばっさいについて教えてくださり、感謝いたします。

おかげで木をきるのが、すごく、つかれて、むずかしいというのが分かって色々まなべてくわしく知ることができて、とてもうれしかったです。特にこんなつかれる仕事なのにばっさいの方がたがいっぱいいるといふことにおどろきました。これからは私も色々なことにちようせんしむずかしいこともちようせんしていこうと思います。

来月には教えていただいたことをまとめ、発表します。ばっさいが色々なことについて多くの人に知ってもらえるようにしたいと考えています。本当にありがとうございました。これからもお体に気を付けてください。

敬具

武蔵野市立第一小学校 5年 西村 結愛

伐採体験を教えて下さった方々へ

仮想体験 実体験二

短い滞在ながら、私が感じたその幾つかの「体験」をラウンドに話したい。一つでも好いなと思うことがあったら実際に行ってみて欲しい。やっぱり、バーチャルよりリアル今回は、ベルギー。首都はブリュッセル、仏語風にブラッセル。中心地はコンパクトで歩きやすい。運河の町で名高い都市ブルージュはよくベニスに例えられ、運河廻りの船が頻繁に出ている。ブルージュのレースは有名でお土産品にもなっている。

生チヨコレートと地ビールが好きなならベストな国でもある。チヨコレート発祥の地でチヨコレート博物館がある。生チヨコは量り売りが普通で、ゴダイバやノイエスなど高級チヨコも日本よりずっと安価。地ビールは日本ではシメイが知られているが、他にもたくさんあり美味しい。ビールで出されるグラスの形も違うほど。ムール貝のワイン蒸しのようにビール蒸しがあり、量も多くリーズナブル。ジャガイモの消費量は高く、ドイツを抜くと聞いた。確かに付け合せのフレンチフライドポテトはたっぷりでお代わり自由だった。獣肉料理ジビエは伝統料理でもある。珍しく見た自動販売機は地ビールのもので、建物内のホールにあるのに鎖で厳重に固定されていた。言語は複数で話せる国民も多い。大道芸人が街中にいて芸をしていた。クラシック音楽のストリートミュージシャンも見かけた。有名な「小便小僧」の像は思ったより小さく、季節によっては服を着る。「タンタン」はベルギー発のキャラクターで、お土産用に葉書き・小物・Tシャツなど各種買える。

記 佐藤 鈴子

ちよつとそこのまで

ぶらり旅目



周辺へのぶらり旅を

掲載して 2 回が過ぎ、2 回目の反応はコースよりも私の周辺の変化についてのお問い合わせが多くどうしたものかと。

さて今回は、ぶらり旅と言うよりぐうたらな休日の過ごし方の紹介となるが、皆様は休日の過ごし方を

事前に計画する派？朝起きてから考える派？季節や場合によっては両方あるが、私は秋が深まると朝起きてから考える派になる。その中でも最近のおすすめは、美術館 or 博物館 + 劇場 or 映画館の組み合わせ。

休日の朝はゆっくり過ごし(年齢的なこともあり目覚めはいつも通り早めですが)パジャマで「コロコロ」朝食の準備もダラダラ、結局朝ごはんを食べ終わったらもう 9 時過ぎ。さて今日はどうしようとなった時はネットで周辺のギャラリーを検索し、良さそうなるところをチェック、次に県内のホール・映画館の上演・上映状況をチェックしてマッチングさせる。

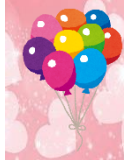
そして出掛ける準備をして家を出るころにはお昼近くになるが、ランチの時間常に車を走らせ、小腹が空いたら



ジャンクな買い食いで満たし最初の目的地に到着。これに思っていた以上に当たりで良い時間を過ごしてしまい、次の映画がギリギリの滑り込みとなってしまふ。映画はまあまあの内容でジ・エンド。気が付くとお腹がペコペコで、気の利いたレストランにたどり着いたら最高だが、意外に見つからずエイヤーと暖簾をくぐり、休日が終わる。映画は魚沼市小出郷文化会館での上映もおすすめ、要チェック。

記 桑原 幸子

ディズニーが魅せてくれた世界 第3幕 ワインの世界



皆さんはディズニーシーでワインを飲んだ事はあるだろうか？ディズニーシーの中ではいくつかのレストランでワインを提供しているのだが、その中にある「ザンビー・ブラザーズ・リストランテ」はワインに纏わるストーリーが隠されているレストランである。

このレストランは、20 世紀のはじめザンビー二家の 3 兄弟がワイナリーを改装して作られた。このレストランは二階建てなのだが、元々は一階が製造所、二階が貯蔵庫になっていた。その名残で今もワイン樽やブドウの圧搾道具などが置かれている。

そしてこのレストランのすぐ近くにはワイン用の葡萄畑があり、ここで収穫した葡萄からワインを製造し、レストランで提供している。ちなみにこの葡萄畑を通る小道の名前は「ヴィア・デッレ・ヴィティ」イタリア語で『葡萄蔓の通り』という。

また、レストラン近くにあるアトラクション「トランジット・スチーマーライン」の船着き場には、イタリア語でザンビー二兄弟を意味する「FRATELLI ZAMBINI」と書かれている木箱や、ワインボトルが見られ、ここから世界各国へ出荷していた様子も伺えるのだ。

因みにこのレストランでは彼等が好物である、パスタやピザ、ドリアも販売しており、当然ながらワインとの相性は抜群である。

『彼等が船旅中の人や船員にワインや食事を提供し、温かく出迎えをしていたのではないかと』など隠されたストーリーに、気持ちとグラスを傾けてみるのも良いかもしれない。

記 伊藤 萌



魚沼で子育て 絵本の家 ゆきぼうし



絵本の家ゆきぼうしは、子どもたちが部屋でゆったりと絵本を読んだり、森で思いきり遊ぶことができる場所だ。「自然と子どもと絵本」をテーマに 1995 年、故大塚中さんと妻千恵さんが私費を投じ、また大勢の人が